


ふりがな 氏名	まつくら さやか 松倉 紗野香	都道府県	埼玉県	
所属/肩書	上尾市立東中学校 教諭			
私のESD活動	世界と自分、社会と自分の「つながり」をつくる活動。 みんなで一緒に考え行動する力を育むことが私の ESD			
ESD活動を 表すキーワード	開発教育	グローバルシティズンシップ	ファシリテーション	

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

・JICA 教師海外研修派遣・・・2010 年度に教師海外研修教員として国際理解教育・開発教育研修に参加。ラオスを訪れ、現地の開発の現場から教材をつくり「食」にまつわる授業を実施。食糧問題やフードマイレージについて参加型学習の授業をつくり食育の観点から栄養教諭とのチームティーチングの形式での授業も取り入れ、「食」を通して世界とのつながりについて考えた。

・韓国教職員招聘プログラム参加・・・2014 年夏に韓国を訪れ、現地のユネスコスクール訪問、授業実践、教員交流を通して日韓の ESD 実践について学ぶ機会を得た。

・グローバルシティズンシップ科の設立・・・本年度より文部科学省指定研究開発学校として新教科「グローバルシティズンシップ科」を設立。私は本研究のプログラムコーディネーターとして、指導法研究、教材開発、評価研究に携わっている。本科では、持続可能な社会の担い手づくりを目的としており、ESD の概念を取り入れた学習内容を実践している。6月に行われた日本国際理解教育学会にて「中学校におけるグローバルシティズンシップの可能性」として分科会で発表を行った。

・埼玉県長期研修教員・・・2014 年度埼玉県長期研修教員として上智大学にて ESD を主に国際理解教育・開発教育の視点から研究し、教材を作成。授業ではアフリカを題材として教材をつくり、多面的・総合的に考える力を養うこと、つながりを尊重する態度を育むこと目的とした。また昨年度の岡山、名古屋での会議にも参加し、ESD の 10 年を振り返り、今後の取り組みについて考える機会を得た。

・JICA 教師海外研修 http://www.jica.go.jp/hiroba/information/2010/101201_02.html

・日本国際理解教育学会プログラム <http://kokusairikai.com/cont/wp-content/uploads/2015/04/25 会大会プログラム.pdf>

ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？

・グローバルシティズンシップ科のカリキュラム開発

現在、本校が取り組んでいるグローバルシティズンシップ科におけるカリキュラム開発実施。

中学校におけるグローバルシティズンシップに関するカリキュラムは日本での事例が非常に少なく、情報を共有したり、実践について議論する場が限られている。今後は、持続可能な社会の担い手を育むためにも、ESD 概念を軸としてグローバルシティズンシップカリキュラムについてより深めたい。

・評価研究

価値の変容、行動の変容が求められるため数値での評価はそぐわないと考えられる ESD の授業であるが、評価規準の明確化や育みたい資質・能力を明確にする必要を感じている。評価について研究を重ね、適切な評価ができるよう議論を重ねたい。